イヤだと言えない地味系少女と
田舎の叔父さん②
R-18
for adult only
F宅

イヤだと言えない地味系少女と田舎の叔父さん2

作・安間

■前回のあらすじ

毎年夏休みには祖父母の家業である酪農を手伝いに田舎まで一人行っている
JCすーちゃん。
●学1年生の夏の終わり、一緒に酪農をやっている叔父さんに
夜這いされ処女を奪われてしまう。
誰にも言えないすーちゃんだったが、もう夏休みに祖父母の家に行かなければ
襲われることもないと忘れることにした。
しかし時は流れて●学2年の夏、祖母から
電話で「どうしても今年も来て欲しい」と懇願され、
イヤだと言えないすーちゃんは再び叔父さんのいる
祖父母の家へ行くことになるのだった。

■登場人物

・すーちゃん
JC2。厳格な両親に品行方正に育てられている。
それ故人から強く迫られると断れない。
叔父さん曰く潜在的にエッチな子らしい。

・叔父さん（信夫）
すーちゃんのお父さんの弟。
両親からはなにかと優秀な兄と比べられ、
ぞんざいな扱いを受けているのがコンプレックス。
憂さ晴らしにすーちゃんを犯した。

すーちゃん
はーい
ちょっとあっちの子牛
みてくるから
ここ頼んだよ〜

●学2年生の夏
また遠方の祖父母の家に
酪農を手伝いに
滞在することになりました
すーちゃん乳搾り
上手になったねぇ〜
ドキッ
ジュコッ
ジュコッ

ボロロ

じゃあ次は
こっちをシゴいて
みようか

はい…

あの…
おじいちゃんすぐ戻って
くると思うので早めに…
それはすーちゃんの
頑張り次第だよ
…

もみ
もみ
シコ
シコ…

ふにゃっ
シコ
シコ

…

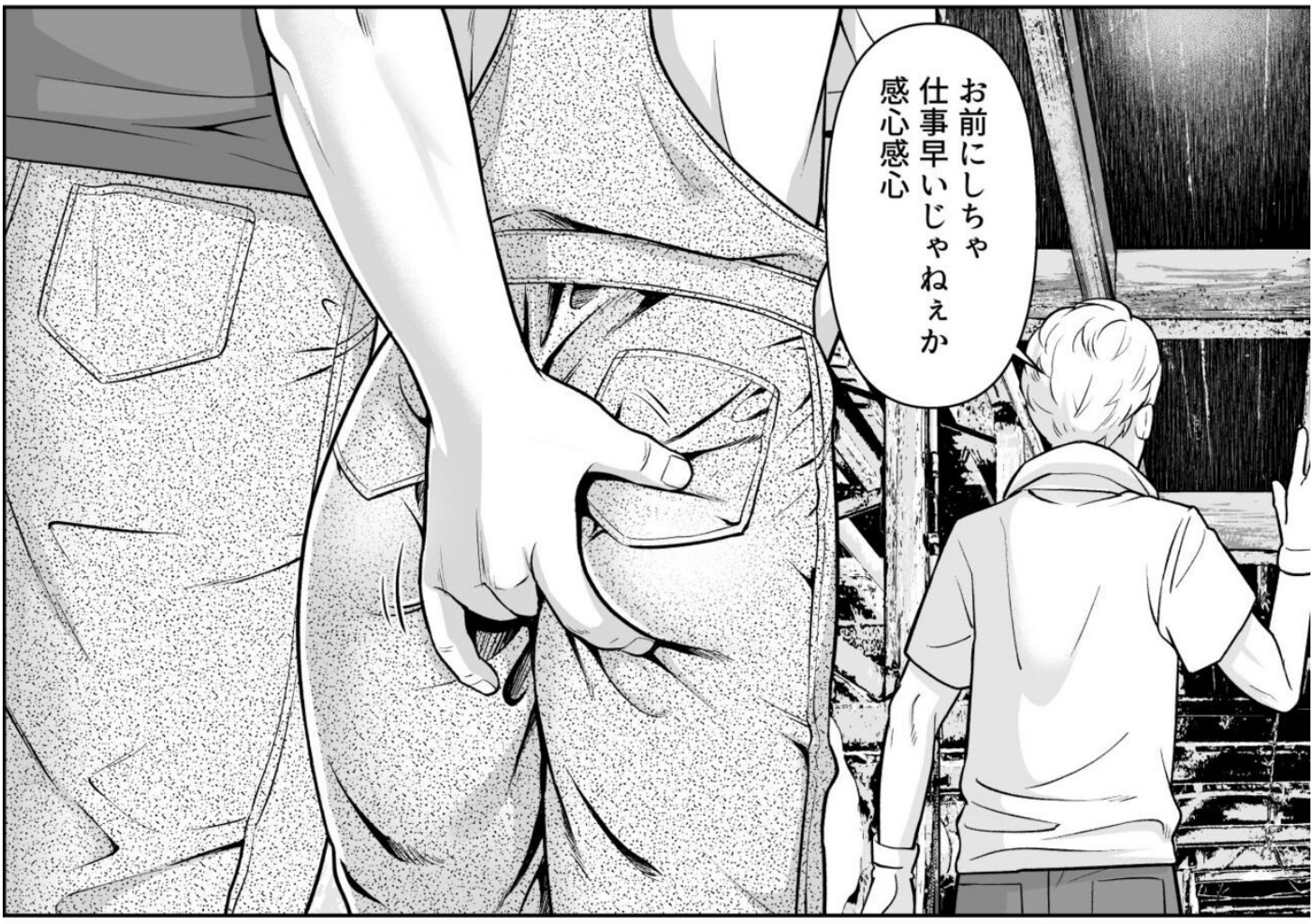
だらっ…

えぇっ
ほらツバ垂らして
滑りを良くして

ほえええいいれふか？
（これでいいですか？）
そうそう
にゅちっ
にゅちっ
そのまま
先っぽ舐めながら
シゴいてっ
ぐっ?!
んっ
ぐぽっ
んぶっ
ぐぽっ
んぐっ
うごうっ
ぐぽんっ
ちゅぼっ
ちゅぼっ
うおぉ…出る…！

ドドド

そうかそうか
終わったら
休憩にしような
なんだ信夫
自分の仕事終わったのか？
あ…ああ
終わったから
手伝いに来たんだ


お前にしちゃ
仕事早いじゃねぇか
感心感心

数日前ー…
すーちゃん
無理言って来て貰って
ごめんねぇ～

今日はゆっくり休んで
明日からよろしくね
はい
叔父さんも
いつも通りだった
すーちゃん
メガネにしたんだ
去年のあれは
何だったんだろう…
なんだか
悪い夢だったように
思えてきた…
今年は
何も無い…といいな…
ギ
ミ…
当然と言えば
そうなのですが

そんな甘い考えは
その日のうちに
打ち砕かれました
ジタバタ
叔父さんやめて…！
一年ぶりの
叔父さんチ●ポが
入りますよ～
にち…
っ…と
ずぷっ
んぐぅっ?!

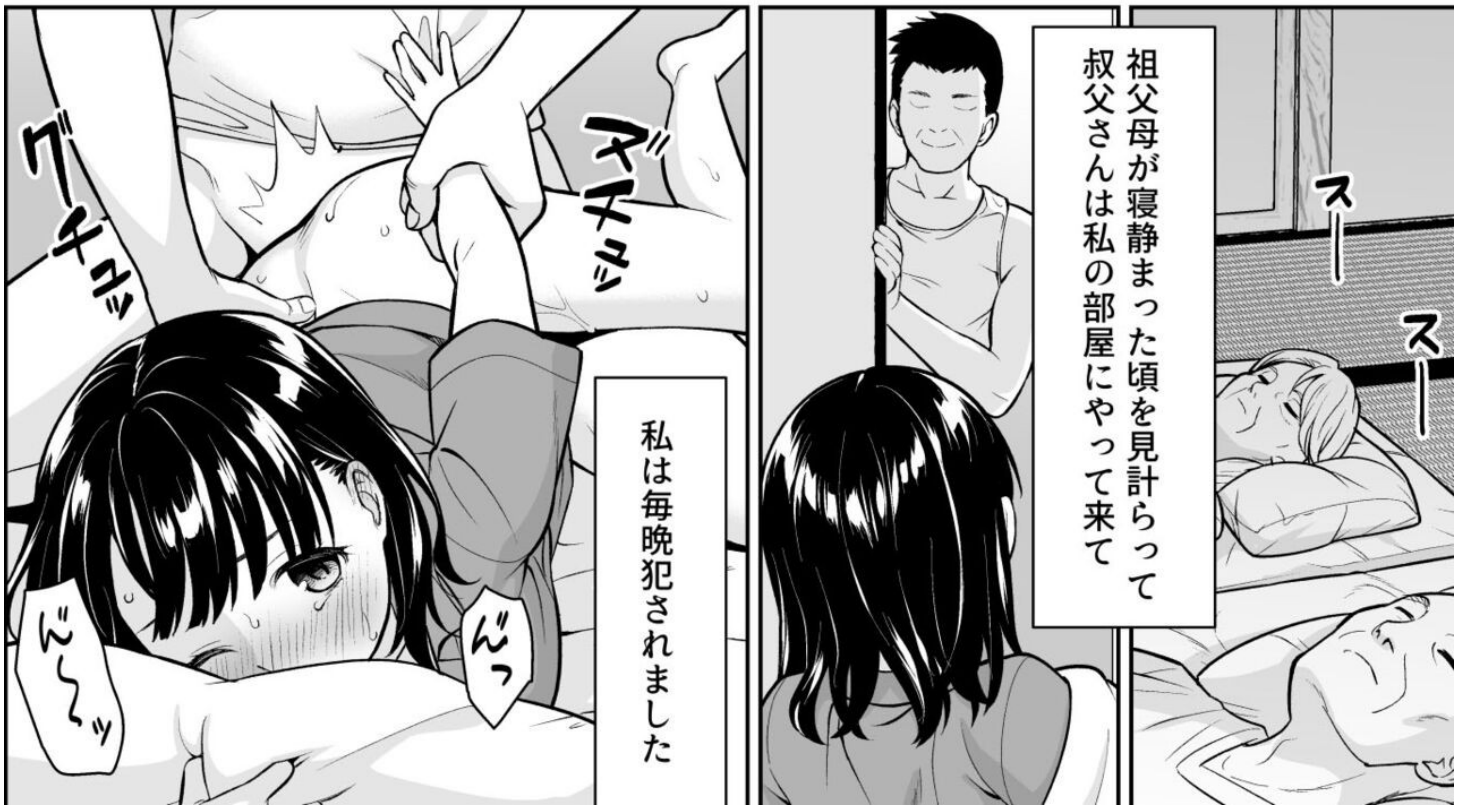
ずっ！
ずっ！
ずっ！
私…また叔父さんに…！
やっ…！
ゆさっ
すーちゃんのおま●こ叔父さんの形のままだねぇ
ぱっ
く
うそ!?
ぬちっ
ぬちっ
叔父さんのチ●ポ覚えてたんだねぇ～
まぁ嘘だけど
ズーンッ
ズーンッ
ズッ
はぁっ
はぁっ

ぬっ
もしかして
もう味しめちゃった?
だから叔父さんとのこと
誰にも言わなかったんだ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぬっ
違…!
あんなこと誰にも
言えなくて…!
まぁどっちにしても
言わなかったお礼に
イかせてあげるね
くりっ
ずんっ
やっ…!
ずんっ
ずんっ
にちっ
にちっ
叔父さん私は
いいですから…!

また頭が真っ白に…！
くり
くり
どぷんっ
ビクッ
あああっ
どぷんっ
どぷん…
ビクビク

はーっ
はーっ
すーちゃんは
セックスの才能があるね
叔父さんの言う通りに
してくれたらこれからも毎晩
気持ちよくしてあげるからね

それから毎晩


祖父母が寝静まった頃を見計らって
叔父さんは私の部屋にやって来て
スー
スー
私は毎晩犯されました
グチュッ
ズチュッ
ぐっ
ぐ〜ッ

私に逃げ道はなくてー…

祖父母や両親には
こんなこと言えないから

これを早く終わらせるには
叔父さんの言う通りに
するしかありませんでした

…
ビーンッ
ほらすーちゃん
叔父さんの上に
またがって

本当はこんな事したくない…
でも私さえ我慢して…
1ヶ月やり過ごせば…！
ぬち…
ずぶっ
ぶっ
くぅ！
はぁっ
ぬぅっ
はぁっ…
ぬぅっ
ぬぅっ…

もみ
はっ
すーちゃんって
お父さんとお母さんが
ヤッてるとこ見たことある？
きゅっ
もみ
はっ
そんなのっ…
ないです…！
ぬちっ
ぬちっ
あー
兄貴堅物だしなぁ
性欲だけなら兄貴に
負けない自信
あんだけどなぁ
カバ
ばっ
あっ…！

叔父さんこの体勢は恥ずかしいです…！
ズーッ
ズンッ
ズッ
ズッ
叔父さんの力が強くて足が閉じられない…！
さっきからいやらしくヒクついて叔父さんのチ●ポ締め付けてくるんだよね
ズン
やぁ…っ変なこと言わないでください…！
きゅうっ
ズブッ
ズッ
ああ…私の恥ずかしいところ…叔父さんと繋がって…やぁぁ…っ

あっ…！
そこは…！
ドキッ
くり
くり
ほら声は
ガマンだよ
ぶるっ…
ふぐっ…！
くりくりくり…
きゅん
きゅんっ
ぐっ
ぐっ
ぐっ

ほらほら叔父さんは
まだイッてないよ
ズーッ
……！
ズーッ…
……！
ズーッ
叔父さんの
性欲と体力はすごくて

だめ…
みられちゃいます…
やれやれ…
しょうがねぇなぁ

もみもみ
夜だけで足りない時は
農作業中でも…

おーい
ちょっと一休み
してくるぜ

信夫！
あんたはまたサボって
ばかりで…！
ガラ
まぁまぁお袋
●学生のすーちゃんも
休ませてやんねぇと
ピンポーン
ジ～～
ほらすーちゃん
サクッと抜いてくれや
ビンッ
んっ…！
んっ…
あっ…！
ドビュッ
ジュポッ
ビュッポッ

挙句の果てには
私がお風呂に入っている時にも
求めてくる始末です
ガラッ
叔父さん!?
すーちゃん
洗いっこしようか
ちょっと前まで
一緒にやってただろ?
たぷっ
ヌル
ヌル
静かにね
あんまり騒ぐと
親父とお袋に
気づかれちゃうから
…!
あっ…!
ぬりゅん
ぬりゅん

ぴくっ…
ふっ…
コス
コス
…っ
くにゅ
たぷん
たぷん
それは…はい…
ぷるっ
ぷるんっ
すーちゃん
やっぱり去年より
胸おっきくなったよね？
？
そうだ
アレやろうぜ

そうそう胸でチ●ポ挟んで
ムニュッ
その状態で胸を持ち上げたり下げたりして…！
たぷん
たぷんっ

男の人って胸でこんなことされたいものなのかな…
ヌリュ
ヌリュ
叔父さんに命令されてする事はよく分からない…
はっ
はぁっ
ずぽ♡
ずぽ♡

叔父さんに言われた通りにするのは嫌だけど…
叔父さんに触られるのはもっと恥ずかしいから…
だから言う通りにしないと…！
これで一旦治まってくれるはず…
はあっ
はあっ
えっ
次はすーちゃんを気持ちよくしてあげるからね

あのっ……！
私はいいですから……！
わしゃ
ヌルヌル
スル…
うそ…!?
いつもなら出せば
終わってくれるのに……！
まぁまぁそう言わずに♪
ズリ
ズリ♡

ボディーソープで
ヌルヌルだから
余計に気持ちいいだろ？
あ…っあぁ…！
びく
びくっ
くちくち
こしゃ
こしゃ
ぬぷぷん

ほらヌルッと入った
んっ……！
ぬと…
これはすーちゃんの愛液かな？
それともボディーソープかな？
ボ…ボディーソープです……！

叔父さんに触られると変になるから…
それだけは回避したかったのに……！
あっ…
ぐっ
ぐっ
くちくちくち…
はぁっ……！

すーちゃんもそろそろ
エッチに慣れてきたと
思うから

今日は中イキを
教えてあげるね

今までは
クリトリスっていう
ここがイッてたんだよね
くりっ
はうっ
それがこっちのGスポットも
こうやって一定のペースで
刺激し続けば…
ぐり
ぐり
なに…？
ぐっ
ぐっ
ほらほら具合が
変わってきただろう？
あっ
叔父さん
待って…！
びく
びく
やっ…!?
叔父さん何か変…！
ぐっ
ぐっ
キュ
〜〜
アソコの締め付けが
強くなってきた

じゃあ入れるぜ！
あっ…!?
ズボ
あっ…！
ぱあんっ

ぞくぞく
う…あ…っ？
ぞくぞく
あぐ…
なに…これ…？

はぁっ
ぞくんっ
いつも以上に叔父さんのを…
感じて…！
はへっ…！
ヌッ
ヌッ
だめ…！
感じたくないのにどうしたらいいのか
分からない…！
ぞくっ
んっ
ぞくっ
んっ
たんっ
たんっ
たんっ

びくっ
Gスポット
重点的にいくよっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ひあぁっ!?

ずちゅっ
中でイけるようになるともっと気持ちよくなれるから…ね！
んはあぁっ
ばちゅっ
叔父さんそこいやぁっ！
ぐっちゅ
ぐっちゅ
ごりゅごりゅっ
いや…！
ダメ…！我慢できない…!!
ぞくっ
うごっ
たんっ
たんっ
たんっ
ばるっ
ばるっ
くっ…！
なにかくるっ…！

あぁあっ
キュ～ッ
ビクッ

あっ……！
ああっ……！
びくっ
びくっ
まだびくびくして……！
ごぽんっ
ごぽっ
止まらない……！

っ…！
ビクビクッ
あぁあぁんっ

はひ…
ぞくっ…
はぁぁっ…！
ずっとイッてるような…
全身が溶かされるような…
びくんっ
びくっ
これが…中イキ…
きゅん
きゅん

まだまだ
こんなもんじゃ
ねぇぞ

やぁ…！

ぐいっ

ズププッ

パーンッ

パーンッ

うぁっ…!?

くっ

び

パーンッ

パーンッ

パーンッ

あっ
はぁっ…！

ぶるんっ

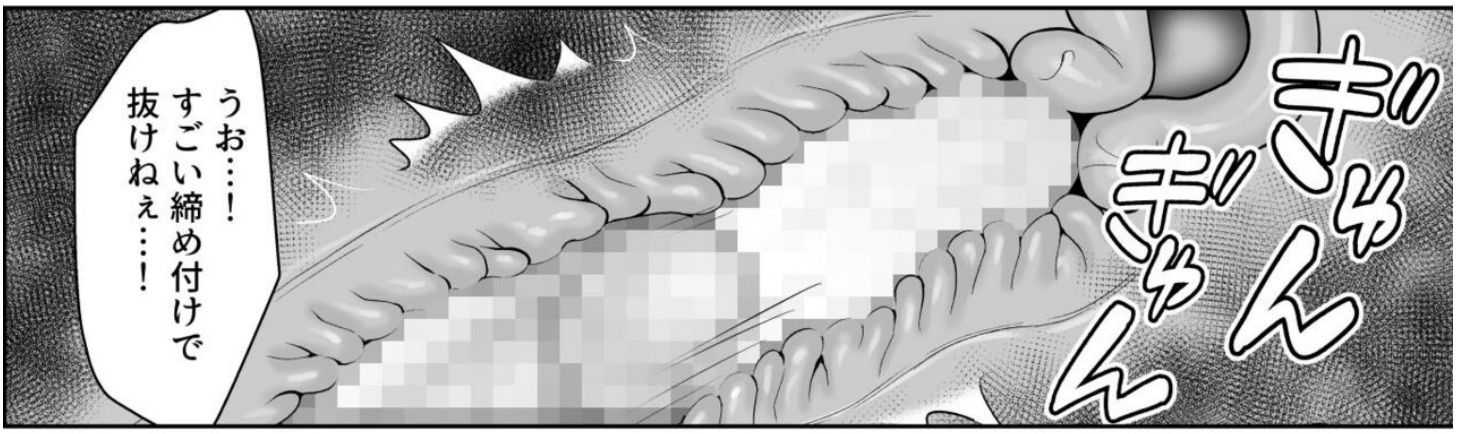
ぶるんっ

突かれる感覚が…！
さっきと全然違う…！

こんなのおかしくなる…！
はぁっ
パンッ
びくっ
はっ
パンッ
びくんっ
ひいぃんっ
パンッ
一突き毎に軽くイッてるね
やっぱりすーちゃんはエッチな女の子だ♥
びくびくっ

私…！なんでこんなに…！
ヌプッ
ヌプッ
あ〜〜っ
あああ
びくんっ
くぅ〜ッ
びくっ
イクと余計に感じちゃう…！
ひぃぃっ
ひぐっ
イクっ♡
バシャッ
バシャッ
びくっ
身体が思い通りにならない…！
イきそうになるの全然ガマンできない…！

こんな感覚知らない…！
やっ
ダメえ
あっ…！
あぁっ
ビク
ビク
ビク
またイクっ♡


ぎゅん
ぎゅん
うお…！
すごい締め付けで
抜けねぇ…！

このまま中に出すよ
すーちゃん…!!
ぬっ
ひぁっ…！
ぬっ
ぬっ!!
はぐっ♡
ひぃん♡
だめ…また大きいの
キちゃう…！

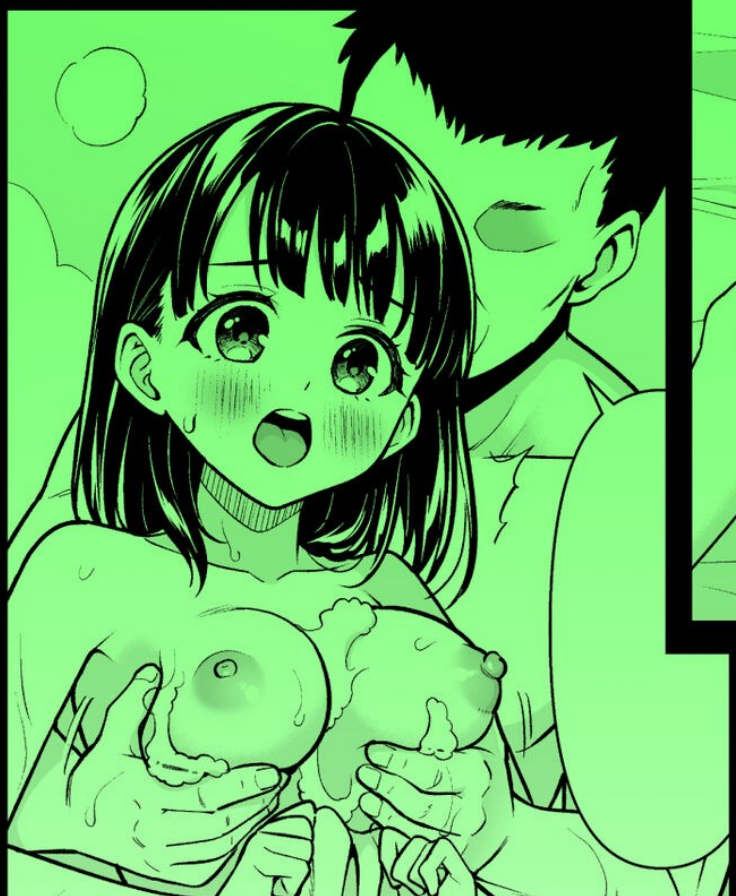
はあああう
ビクビク

うおぉ…
まだ出るッ…！
ガク
ガク
ああぁ…
ドクッ
ドクッ
ドクッ…
あ…っ…
プッン
…あれ？
すーちゃん…？
くた…
祖父母の家に来て
まだ半月…
自分の体が少しずつ
変わっていくのを
感じていました
残りの半月で
私はどうなって
しまうのでしょうか…

■あとがき

すーちゃんも2年目になり叔父さんの調教が始まりました。
日常的に犯されるようになったため、色んなHシーンを入れました。
毎日犯されている女の子を描くのは楽しいものです。笑

ですがつい色々やりたくなって１シーンのページが長く
なってしまうのが悩みどころ…。
短いページでエロくするの難しいですね。長くなってしまったので
続きは次の巻ということで…。



叔父さんに処女を散らされたある夏の出来事から1年後―…。
祖母に懇願され断りきれず、この年も牧場の手伝いへと赴くすーちゃん。
当然再び叔父さんに夜這いされ、それから毎日の調教が始まった。

夜の寝屋で、牧場の仕事の最中に、はては入浴中にも…。
行為になれば必ずイかされるまでねちっこく責められ、
パイズリやフェラで男を教え込まれてしまう。

叔父さんの要求を受け入れていくうちに、
すーちゃんも身体の反応が徐々に変わっていき…？

※18歳未満の方はご購入できません。